

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果

教科に関する調査の結果

〈特徴のあった主な問題〉（○：正答率の高かった問題、●：課題の見られた問題）

- 国語 A 文脈に即して漢字を正しく読む（技を磨く） 97.3%
- 国語 A 慣用句の意味を理解する（心を打たれる） 89.2%
- 国語 B 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する 82.2%
- 国語 B 質問の意図を捉える 81.1%
- 数学 A 数直線上に示された負の整数を読み取ることができる 88.1%
- 数学 A 単項式どうしの除法の計算ができる 84.9%
- 数学 B 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる 76.2%
- 理科 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる 87.0%
- 国語 A 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える 48.6%
- 国語 B 全体と部分の関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す 44.9%
- 数学 A 証明の必要性和意味を理解している 43.8%
- 数学 B 3つの計算の順番を入れ替えた時の計算結果を数学的に表現することができる 48.1%
- 理科 風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる 33.5%

〈全国との比較〉（平均正答率% 整数値）

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
西谷中	67	54	55	34	55
全国	76	61	66	47	66

〈概況〉

国語、数学、理科のいずれも主として知識を問う問題では正答率の高い問題もあったが、活用問題には課題が見られた。また、全国的に全国平均には届かなかった。

生活・学習に関する調査の結果

〈特徴のあった主な質問〉

- ◇「放課後に何をして過ごすことが多いですか」（複数回答可）の質問では、「学校の部活動への参加」が最も多く（81.6%）、ほぼ全国平均であったが、「習い事」（15.1%）は少なく、「家でテレビやビデオ・DVD を見たり、ゲームをしたり、インターネットしたりしている」（78.4%）、「学習塾など学校や家以外の場所で勉強している」（56.2%）も多かった。
- ◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」合わせて 94.1%と全国平均とほぼ同じだった。
- ◇「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」合わせて 75.7%と全国平均より 3%上回っていた。
- ◇「理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」「観察や実験を行うことは好きですか」の質問では、いずれも全国平均を上回り、理科の観察や実験に関する興味関心が高かった。